



四日市市エコパートナー事業 一般公開特別シンポジウム
 考えよう、生物多様性～動物園・水族館・フィールドミュージアム

2023年2月26日(日) そらんぽ四日市

(四日市市立博物館) 1階講座室

9:30 受付開始

10:00 開会

10:05 基調講演Ⅰ 高田浩二氏 (海と博物館研究所)

事前申込 入場無料

定員 50名

「地域の文化教育資源を生かした動物園・水族館教育」



出前講座の様子

令和4年4月8日に改正された博物館法では、「博物館の役割の多様化・高度化、設置者の多様化、適正な運営の確保、博物館事業や博物館登録の要件を見直す」となり、また「地方公共団体、学校、社会教育施設、その他の関係機関、民間団体との相互連携、地域における教育、学術や文化の振興、文化観光（文化に関する資源「文化資源」の観覧、文化資源に関する体験活動）を通じ地域活力の向上に寄与する」と記されました。本講演では、弊職が現職までの45年間に、地域の社会教育機関として、学校教育、博物館、図書館、福祉施設、企業などを「地域の文化教育資源」として活かしてきた多様な教育・展示活動を紹介します。

10:45 基調講演Ⅱ 五十嵐実氏 (日本自然環境専門学校)

「阿賀野川フィールドミュージアム事業とマタギ文化のエコツーリズム」



エコツアーの様子



阿賀町ブナ林

新潟水俣病は新潟県の阿賀野川流域で発生し、四日市ぜんそくと同じく、四大公害訴訟で知られています。公害はすでに過去の事、そう捉えるのではなく、なぜ起きたのか、その当時の社会的背景を学び、同時に地域にあるマタギ文化を知るエコツアーを行っています。マタギの文化は数百年の間、自然を持続的に利用してきたからです。このエコツアーから現在の環境問題を改めて考えてみたいと思います。

11:25 コメント 寺田卓二氏 (一般社団法人ネクストステップ研究会)

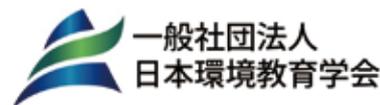
「講演を受けて四日市に活かす視点」

11:30 質疑応答

11:45 閉会

主催：四日市市 企画：一般社団法人日本環境教育学会中部支部

【事前申込制】2月12日(必着)までに、四日市公害と環境未来館「シンポジウム」係へ(詳細は裏面をご確認ください)



四日市市エコパートナー事業 一般公開特別シンポジウム
考えよう、生物多様性～動物園・水族館・フィールドミュージアム
申込用紙

2月12日（必着）までに、郵送、FAX、E-mailにて、以下の内容をご記入の上お申し込みください。応募多数の場合は抽選、当選された方にのみ、郵送で当選通知をお送りします。

開催5日前までに案内が届いていない場合は落選です。

住所 〒			電話番号
参加者氏名（ふりがな）	年齢（学生は学校名・学年）	保護者氏名（ふりがな）	年齢

四日市公害と環境未来館 〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号

【TEL】059-354-8065 【FAX】059-329-5792

【E-mail】kougai-kankyomiraikan@city.yokkaichi.mie.jp

【ホームページ】<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>

【開館時間】9時30分～17時

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌平日）

※2月10日（金）まで整備休館。休館中の問い合わせは、土日祝日を除く、8時30分～17時15分をお願いいたします。